

AIエッジ解析カメラ「Eeye(イーアイ)」アプリケーション開発キット

エッジ処理で高速かつ正確に顔認識ができるAIエッジ解析カメラEeyeを利用したソリューションやプロダクト製品をLinuxOS上にて開発頂くためのハードウェアおよびソフトウェアの開発キットをご提供

Eeye開発キットの構成

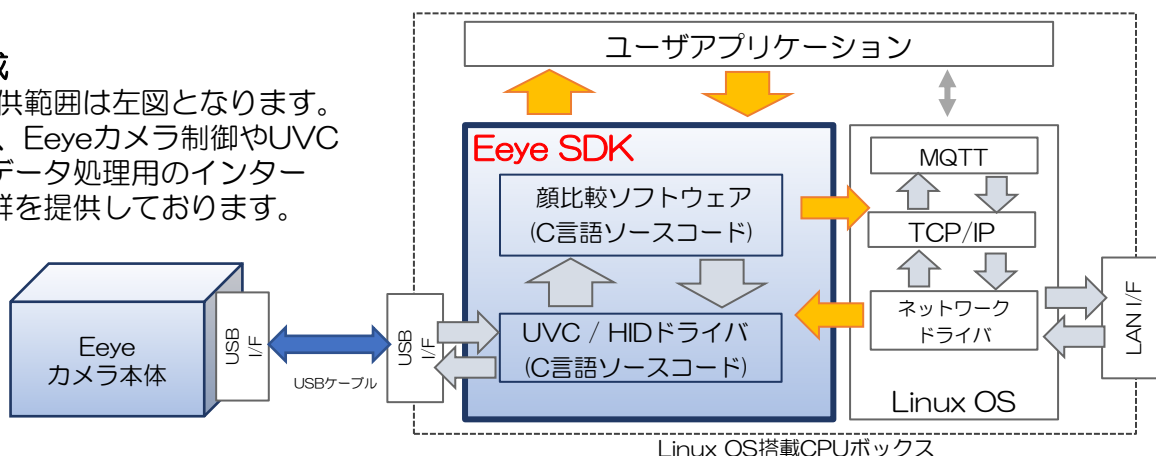
開発キットは、以下を提供いたします。

- Eeyeカメラ本体 1台
- USBケーブル 1本
- OS(Ubuntu)搭載CPUボックス 1台
(OSは、Ubuntu 16.04 (Kernel 4.x系))
- CPUボックス用ACアダプター 1個
- SDK(C言語ソースコード)
- サンプルアプリケーション
- ドキュメント



SDKの構成

SDKの提供範囲は左図となります。SDKでは、Eeyeカメラ制御やUVCフレームデータ処理用のインターフェース群を提供しております。



利用用途がわかるサンプルアプリを準備

SDKでは、顔特徴情報の取得や認証手順など確認できるサンプルアプリケーションとC言語のソースコードが含まれております。

比較データと撮影画像との顔認証結果をターミナル内に表示



顔特徴情報を表示 (性別、目や口の開閉、顔の向きなど)

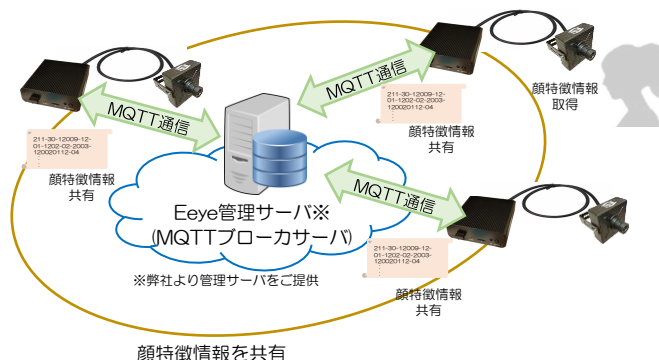
Eeyeにて撮影されている映像をモニターウィンドを立ち上げて表示

顔の位置を枠で表示

サンプルアプリ起動中の表示イメージ

ネットワーク環境にも対応

複数のEeyeカメラを接続し利用するための中継管理(MQTTブローカ)サーバをご提供。任意のEeyeカメラにて取得した顔特徴情報を他のEeyeカメラと共有し利用することも可能。



CPUボックスハードウェアスペック

項目	スペック
CPU	ARM Cortex-A72 x 2 + ARM Coretex-A53 x 4
メモリ	4GB
外部 I/F	USB2.0 x 2, USB3.0 x 2(TypeA x 1, TypeCx 1), HDMI x 1, 有線LAN
給電	-30°C ~ +60°C
給電	12V, 2A
サイズ	112.4 x 107 x 32 (mm)